

日本大学第二中学校 1 年 2025 年 1 学期期末試験 英語

試験時間	50 分	
	設問概要	
	形式	目標解答時間
1	リスニング（書き取り）	-
2	リスニング（書き取り）	-
3	リスニング（単語の空欄補充）	-
4	リスニング（文章空欄補充）	-
5	数字の書き取り	1 分
6	英文空欄補充	2 分
7	選択問題（英会話）	2 分
8	選択問題（空欄補充）	2 分
9	文法（冠詞の選択問題）	2 分
10	文法（be 動詞の空欄補充）	2 分
11	英文空欄補充	3 分
12	英文空欄補充	3 分
13	英文空欄補充	2 分
14	英文空欄補充	2 分
15	英文空欄補充	3 分
16	英対話文空欄補充	2 分
17	並べ替え問題	4 分
18	記述問題（可能の表現）	4 分
19	記述問題（指示に従い）	5 分
20	読解問題	4 分
21	読解問題	4 分

～ 概要～

～ 1 リスニング（書き取り）～

✓ **形式**

：店員と客の間で交わされる店での会話をもとに、解答用紙にそれぞれの客が何を買おうとしているのかをそれぞれ二つずつ日本語の単語で書き取る。

英文は二回放送される。

✓ **問題数**

：4問。

✓ **配点**

：各2点、計8点。

✓ **ポイント**

：メモ欄が設けられているので、すぐに解答用紙に答えを記入するのではなく、リスニング中にメモを取るようにする。

会話の場面を想定して、放送される単語には特に注意して聞くようにする。

～ 2 リスニング（書き取り）～

✓ **形式**

：対話が2つ放送されるので、各人物の気持ちや体調を表す言葉をそれぞれ二つずつ聞き取り、日本語で答える。

対話は2回放送される。

✓ **問題数**

：2問。

✓ **配点**

：各2点、計4点。

✓ **ポイント**

：問題文にもあるように、人物の気持ちや体調を表す表現に注意して放送を読み取る。

本当に疲れている (Really tired) やとても嬉しい (Very happy) のように副詞も含まれていることあるため、注意をし、可能ならば正確にそれらを日本語で書き取る。

～ 3 リスニング（単語の空欄補充）～

✓ **形式**

：4つの単語が英語で発音されるので、それらを聞き取り、対応しているそれぞれの単語の空欄に文字を一字書き入れる。

単語は2回放送される。

✓ **問題数**

：4問。

✓ **配点**

：各1点、計4点。

✓ **ポイント**

：単語が発音される前にそれぞれの単語と空欄を確認しておき、入るであろう文字を予測しておく。（特にこの問題の場合、絶対に母音の文字が入ることがわかる）

ゆえに、スペリングの問題ではなく、O/I/U/Aの音を正確に聞き取ることができるかの問題。

～ 4 リスニング（文章空欄補充）～

✓ **形式**

：放送される対話を聞き、英文の空欄がうまるように dictation する。

✓ **問題数**

：2問。

✓ **配点**

：各1点 計4点。

✓ **ポイント**

：リスニングが放送される前に英文と空欄箇所を確認し、考えられる文章を予測しておく。

また空欄が文頭にある場合は、それに応じて文頭の単語の頭文字は大文字となるため、注意する。

書き取った単語を空欄に補充した際に、文章が成立せるかを確認する。

～ 5 数字の書き取り～

✓ **形式**

: 与えられた数字を英語で綴る。

✓ **問題数**

: 5問。

✓ **配点**

: 各1点 計5点。

✓ **ポイント**

: 15 (fifteen) や 40 (forty)、100 (one hundred) など、数字が大きくなるごとに綴りもやや難しくなるので、綴りのミスに注意する。

また 20(Twenty)や 40(forty)はパターンで覚えることができる。

～ 6 英文空欄補充～

✓ **形式**

: 日本語に合う英文になるように、英文中の空欄を補充する。

✓ **問題数**

: 6問。

✓ **配点**

: 各1点、計6点。

✓ **ポイント**

: 日本語が与えられているため、空欄箇所に該当する日本語を読み取り、それを英語で書き取るという単語問題に近い形式。

英文の形や流れを理解し、それを日本語と英語で適切に切り替える能力が必要。

～ 7 選択問題（英会話）～

✓ **形式**

： 英語の質問文に対する答えの文として最も適切な回答を選んで、記号で答える。

✓ **問題数**

： 3問。

✓ **配点**

： 各1点、計3点。

✓ **ポイント**

： 与えられた英文で何が問われているのかをしっかりと把握すること。

特に *Are you a baseball fan or a soccer fan?* と2択を質問されているのか、

Is your sister a high school student? のように Yes/No で答える質問なのかを判別する。

そしてそれに応じて回答の仕方は変わる。

～ 8 選択問題（空欄補充）～

✓ **形式**

： 和文と空欄のある英文が与えられ、和文に合うように与えられた選択肢から英単語を選び、記号で回答する。

✓ **問題数**

： 3問。

✓ **配点**

： 各1点、計3点。

✓ **ポイント**

： 英文と和文を比較して、まだ使われていない単語を把握する。例えば、問1の場合、空欄に入る単語は「上手」だということが分かる。これを元に、選択肢から「上手」という意味を持つ英単語を選択する。同様の手順を他の問題でも繰り返す。

～ 9 文法（冠詞の選択問題）～

✓ **形式**

：英文中の冠詞の部分に選択肢が 3 つ与えられ、選択肢以外の部分に適した冠詞を選び、記号で回答し英文を完成させる。

✓ **問題数**

：6 問。

✓ **配点**

：各 1 点（完答）、計 6 点。

✓ **ポイント**

：冠詞の後の名詞が、ある特定のものを指しているのか、名詞一般をさしているのか。
また冠詞の後に続く名詞が、母音から始まる場合は a ではなく an を用いる。
ただ uniform や university は母音から単語が始まるが、例外的に a を用いる。
また (5) (6) は、選択肢が冠詞ではなく代名詞も含まれているが、同様に対象が文章中でどのように扱われているかを把握し、選択肢を選ぶ。

～ 10 文法（be 動詞の空欄補充）～

✓ **形式**

：次の日本語を英語一文に書き換えて記入する。【 】内の条件があれば従うこと。

✓ **問題数**

：3 問。

✓ **配点**

：各 1 点、計 3 点。

✓ **ポイント**

：前述のとおり、一度で完成形を作ろうとせず、いろいろ省いた簡単な形から作って足していく。

「昨年彼は新しい家を建てた」 → 「彼は家を建てる」
→ 「彼は家を建てた」 → 「彼は新しい家を建てた」
→ 「昨年彼は新しい家を建てた」

～ 11 英文空欄補充～

✓ **形式**

：日本語の意味に合う英文になるよう（ ）内に適切な英語で回答する。

✓ **問題数**

：4問

✓ **配点**

：各1点、計4点。

✓ **ポイント**

：対応している日本語の文章に合わせ、すでに英文で書かれているものと空欄で何を補う必要があるのかを確認する。特に前置詞や動詞の役割や正しい形を理解し回答していく必要がある。また、疑問文の際には主語と Be 動詞の位置関係に注意すべき。

～ 12 英文空欄補充～

✓ **形式**

：日本語の意味に合う英文になるよう（ ）内に適切な英語で回答する。

✓ **問題数**

：4問

✓ **配点**

：各1点、計4点。

✓ **ポイント**

：対応している日本語の文章に合わせ、すでに英文で書かれているものと空欄で何を補う必要があるのかを確認する。教科書や授業内で学習した特定の言い回しなどが出題されることが予想されるため、学習した決まったフレーズなどはその意味を覚え、適切に使用できるよう学習する。

～ 13 英文空欄補充～

✓ **形式**

：日本語の意味に合う英文になるよう（ ）内に適切な英語で回答する。

✓ **問題数**

：4問

✓ **配点**

：各1点、計4点。

✓ **ポイント**

：各問題に2文あり、前半の文章の名詞を代名詞に変更し回答する問題。代名詞を覚えるとともに、it's などの省略された形のものも適切に使用できるよう学習を進め、（ ）の数に応じて適切なものを使用できるようにしましょう。

～ 14 英文空欄補充～

✓ **形式**

：日本語の意味に合う英文になるよう（ ）内に適切な英語で回答する。

✓ **問題数**

：4問

✓ **配点**

：各1点、計4点。

✓ **ポイント**

：対応する日本語の文章に応じて、Be 動詞や助動詞を空欄に補充する問題。問13同様、（ ）の数に応じて表現方法を変える必要があるため、it's 等の省略されたものや同義となる他の表現等を学習する。また、適切な代名詞も用いる必要がある。

～15 英文空欄補充～

✓ **形式**

：受け答えに正しい英文になるよう（ ）内に適切な英語で回答する。

✓ **問題数**

：3問

✓ **配点**

：各1点、計3点。

✓ **ポイント**

：問に対する適切な解答になるよう空欄補充を行う問題。そのため、どのような質問が聞かれているかを適切に理解し、回答を作成する必要がある。質問文の主語に注目し、適切な解答を作成しよう。

～16 英対話文空欄補充～

✓ **形式**

：疑問形の英文になるよう（ ）内に適切な英語で回答する。

✓ **問題数**

：3問

✓ **配点**

：各1点、計3点。

✓ **ポイント**

：疑問文が成立するよう、（ ）内に適切な疑問詞、be 動詞を挿入する問題。対話から内容を推測し、5W1Hの疑問詞を正しく使うことができるかどうか、がポイントである。今回の問題では、Who、What を使用する必要があり、更に be 動詞も正しく用いる必要がある。

例えば、（ ）が一つであり、Who と is を挿入する必要がある時、Who's の形を使う必要がある。

～17 並び替え問題～

✓ **形式**

: 正しい英文になるよう () 内の英単語を並び替え、適切な疑問文を作る。

✓ **問題数**

: 3 問

✓ **配点**

: 各 1 点、計 3 点。

✓ **ポイント**

: 単語同士の繋がりを考慮し、文法的に正しく並び替えする必要がある。疑問詞、主語、動詞を適切な順番で並び替えることができるかどうか、がポイント。

疑問文を作る時の並び順は、「疑問詞→動詞→主語→動詞」の順番になる。

例えば一問目の【eat, where, you, do】breakfast on weekends?は、

Where(疑問詞) do(動詞) you(主語) eat(動詞) breakfast on weekends?の順になる。

～18 記述問題 (可能の表現) ～

✓ **形式**

: 指定された表現を使って、文法を踏まえ、正しい文章を作る。

✓ **問題数**

: 2 問

✓ **配点**

: 各 2 点、計 4 点。

✓ **ポイント**

: できること、できないことを書き表すため、助動詞の can、can not を正しく使えるかどうか、がポイント。助動詞は、主語と動詞の間に挿入して使用する。

例えば、I play soccer. という文章に can を付け足す場合、I(主語) can(助動詞) play(動詞) soccer. となる。

～19 記述問題（指示に従い）～

✓ **形式**

：それぞれの問題の指示に従って、全文を書き換える。

✓ **問題数**

：6問

✓ **配点**

：各2点、計12点。

✓ **ポイント**

：疑問文や否定文を作る基礎的な問題だけでなく、下線部を尋ねる問題や主語を変える問題が出題されているため、三単現や疑問文の作り方等の基礎的な文法ルールを幅広く網羅しておくが良い。

例えば4問目は、That is a park.の下線部をたずねる質問文にする必要がある。

Where is it? や What's the name of it? 等が正解となるだろう。

6問目は、You are on the rugby team.の下線部を「あなたの弟」に変える必要がある。

Your brother は三人称単数現在に当てはまるため、be 動詞は are ではなく is になる。

よって、Your brother is on the rugby team.が正しい形となる。

～20 読解問題～

✓ **形式**

：長めの対話文を読み、文章の内容理解ができているか確認する問題が出題されている。

✓ **問題数**

：3問

✓ **配点**

：各2点、計6点。

✓ **ポイント**

：代名詞が指す人や、空欄補充の問題が出題されているため、文章の流れや内容を的確に把握しておく必要がある。

例えば2問目は、下線部②の You が指す人物が聞かれている。

You は「あなた」を意味する単語であり1人を指すこともあるが、You guys という言葉が存在するように、「あなたがた」を意味する単語でもある。

You can perform together.という文には「共に」を意味する together が付いていることから、2人以上を指すことが分かる。よって、文章の流れから You を指すのは、ケンだけでなくエミリーも含む。

3問目は、対話の後にエミリーとケンが最初にすることを推測し、日本語で記入する問題である。

対話文の最後で、ケンが「Emily, let's choose a song.」と発言しているのに対して、エミリーが「OK, I'm so excited!」と返答していることから、双方は曲選びに合意していることが分かる。

よって、答えは「曲を選択する。」「歌を選ぶ。」等の書き方が妥当となる。

～21 読解問題～

✓ 形式

：長めの対話文を読み、文章の内容理解ができているか確認する問題が出題されている。

✓ 問題数

：3問

✓ 配点

：各2点、計6点。

✓ ポイント

：大問20と同様に、代名詞が指す人や、空欄補充の問題が出題されているため、文章の流れや内容を的確に把握しておく必要がある。

例えば2問目は、itの言い換えを英語で全て書き抜く問題である。Itが指すものは、名詞且つ単数形のものであり、直前に書かれていることが多い。

文章の流れをみると、下線部②の直前に書かれている「deep-fried tofu」を指すことが分かる。問題文では、「全て抜き出すこと」が指定されているため、-も書いておく必要がある。尚、itは名詞を指すため、文章全体(This is deep-fried tofu.)を抜き出す必要はない。

ポイントは、言い換えた単語をitの代わりに文章挿入した時に、違和感なく筋が通った文章になるか、である。

～ [E- I] 会話文読解～

✓ 形式

：パート I では会話文を読んで問いに答える形式。

✓ 問題数

：3問。

✓ 配点

：3点

✓ ポイント

：長文問題は、本文よりも前に各設問を確認する。**自分が何をすべきなのかを理解すること。**

会話文なので長文とはいえ読みやすい文章になっている。質問の内容は下線部を英語に直すものや空欄に当てはまる英単語を答えるものなど文章を全部読まなくても答えられるものも含まれているのでそれらを最初に回答すると文章中の空欄がなくなりより読みやすくなる。

～ [E- II] 会話文：チラシ読解～

✓ 形式

：パート II と同一の人物たちの会話が続く。チラシ情報が追加される。

✓ 問題数

：5問。

✓ 配点

：(1) 3点 (2) 2点

✓ ポイント

：(1) は動詞を文脈に合うように変化させる。時制に加え、動名詞も問われる。

(2) は本文の内容と比べてセンテンスの正誤を判断する。15語以上でそこそこ長さがある。

こういった問題では、「**情報を分割する**」とよい。

例えば、Aya changed her schedule because she wanted to join the workshop on Sunday.

とあるなら、Aya changed her schedule / because she wanted / to join the workshop / on Sunday.

と分割とすると

・【スケジュール変更したのは Aya なのか】 → 変更したのは Bob

・【理由は彼女がしたかったからなのか】

- ・【ワークショップに参加したいのか】
 - ・【それは日曜日のことなのか】 と、長文から情報を見つけやすくなる。
- なお、分割した情報のうち、1つでも間違っていれば、このセンテンスは誤りとなる。

～ [F]英作文～

- ✓ **形式**
：英文での質問に対して3つの条件に従いながら英文で回答する。
- ✓ **問題数**
：1問。
- ✓ **配点**
：文法3点 内容3点 計6点
- ✓ **ポイント**
：作成するセンテンスは3文。5語以上のため、場所や時間、いっしょに行動する人など、追加できる言葉を丸ごと覚えておくといよい。1文目が応答、2文目がサポート（＝理由）になるので、“For example”や“Because”などのつなぎ言葉
- ✓ ＝接続詞も使うと語数を気にしなくてよくなる。

～ [G- I] 長文読解：図表～

- ✓ **形式**
：図表から情報を適切に読み取る。イラストつきで分かりやすい。
- ✓ **問題数**
：2問。
- ✓ **配点**
：各2点、計4点。
- ✓ **ポイント**
：まずは図表の内容ではなく、問題文から読むこと。（不要な情報を受け取らない）
問題から「～の場合は何をすべきか」と問われれば、図表から当てはまる箇所を探せばよい。
「～について正しいものはどれか」と問われれば、前述のセンテンスの正誤判断のように、
選択肢の英文を切り分けて【情報を分割】して1つずつ調べる。

～ [G-II] 長文読解～

✓ 形式

：見開きの片側半ページ程度の英文を読解する。一部単語には注釈がついている。

✓ 問題数

：7問。

1. 本文内の動詞を適切な形に直す。
2. 代名詞 them であらわされる内容を、英語のまま抜き出す。
3. 空所を補充し、指定の日本語訳になるようにする。
4. 本文内の語彙を言い換える。
5. 本文内の日本語になっている箇所を、適切に英語に直す
6. 代名詞 that であらわされる内容を、日本語にして説明する。
7. 本文の内容に合致する選択肢を5つの内から2つ選ぶ。

✓ 配点

：計16点

✓ ポイント

- ：まずは問題文から読むこと。(不要な情報を受け取らない)
- 3の空所補充や5の英訳部分は、英文法を問う色が強いため、試験範囲の文法は確認すること。
- 2, 6の代名詞の内容については、直前の内容を考えればよい。
- 7の正誤判断は、選択肢の英文を切り分けて【情報を分割】して1つずつ調べる。

～ 総評～

✓ 対策ポイント

：この期末テストでは長文読解の難易度がそれほど高くなく、主に動詞や名詞を中心とした語彙と時制、また不定詞や動名詞を中心に対策をすることが重要。特に短答式の問題や実際に文を書く問題が多く、それらの配点も2点以上と高いのでできるだけミスを少なくしておくことが重要。

序盤の単語問題などにあまり時間をかけないように、日頃の単語練習では「なんとか思い出せる」のではなく、「パッと頭に浮かぶ」ように反復練習をしましょう。

✓ 傾向と対策

：単語は音とイメージをあわせて覚えておくことが重要。筆記の問題では肯定文に加えて、疑問文や否定文も多くあったため、一般動詞や be 動詞、can を使った文などのそれぞれのパターンを作り、和訳できるように日頃から英語⇄日本語の相互の翻訳練習をしておくべきでしょう。